



洗心の松

揺籃だより

令和3年度 藤井小学校だより 6月号



揺籃の藤

学校目標 豊かな心で助け合う子ども よく考え進んで学習する子ども 健康でたくましい子ども
～洗心の松のように大きく根を張り、揺籃の藤のように美しく、たくましい大木になろう～

タブレットを活用した「まなびタイム」スタート！

これからの時代に生きる子供たちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。学校の授業でもパソコンを駆使して、これからのスタンダードを見据えた授業が展開されています。壬生町では、「一人一台端末」の有効活用を推進しており、本校では、端末を活用して子供たち一人一人に合った学習「まなびタイム」をスタートしました。1～3年生は朝の活動として、4～6年生は家庭学習として実施し、学習意欲の向上や基礎学力の定着、家庭学習の習慣化を目指します。様々なデジタル教材の活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進捗で学習できるようになることも期待できます。また、教員が一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた指導や支援を行うことが可能となります。

学校と家庭で連携しながら、子供たち一人一人に合った学びを創り出していきたいと考えております。引き続きの御支援をよろしくお願いたします。



- 細井龍太郎さん(3年)
イーボードは問題がたくさんあって楽しいです。簡単に学習できました。
- 山中 春太さん(3年)
楽しく学習できています。家でやるのも楽しみです。
- 武関 愛梨さん(4年)
ソフトの使い方がわかって、楽しく学習できました。宿題が楽しみです。
- 星野 来愛さん(4年)
最初むずかしかったけど、やり方を覚えたら簡単になりました。

学校運営協議会開催！

21日(金)に第1回学校運営協議会が開催されました。協議会は「地方教育行政の組織運営に関する法律」「壬生町立小中学校運営協議会規則」に基づく制度で、協議会は主に以下の3つの機能を持ちます。委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること。
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること。
- 保護者及び地域住民の理解、協力、参画等が促進されるための協議を行うこと。

学校運営協議会の皆様(敬称略)

会長	荒川 清(放課後子ども教室マネージャー)
副会長	水井 正行(壬生中学校運営協議会委員)
委員	栃木 和子(放課後子ども教室コーディネーター)
委員	青木 圭子(学校支援ボランティア)
委員	篠原 謙二(学校支援ボランティア)
委員	山川 真一(地域学校協働活動推進員)
委員	山川 寛之(P.T.A会長)
委員	佐山 英雄(学校長)
事務局	岸本 和子(教頭)
	生井 祐子(教務主任)



貴重な体験活動！地域の皆様に感謝！

今年度も子供たちは野菜づくりやカンピョウづくり、米づくりに取り組みます。2年生は校庭の教団に地域の方から頂いた野菜の苗を植えました。今年は、ミニトマトやナス、パプリカなどを植えました。子供たちは、野菜が収穫できる日を楽しみにしています。また、今年も5年生は、総合的な学習の時間に地域のボランティアの皆様のご協力により、ユウガオの栽培・収穫、カンピョウむき・加工、そして、ふくべ細工作りまで、カンピョウづくり全般について研究します。この実践は、藤井地区というカンピョウ生産発祥の地にふさわしい活動です。さらに、今年も米づくりを全校児童で行います。24日（月）には、地域のボランティアや保護者の皆様のご支援をいただきながら、田植えに挑戦しました。みんな笑顔いっぱい貴重な体験を行うことができました。子供たちも野菜も、地域の皆様に支えられながら、すくすくと育っていくことでしょう。



「5年生 カンピョウづくり」

- 星野璃亜羅さん(5年)
たくさんの疑問が解決してよかったです。一番おどろいたのは、1日で30cm伸びるということです。
- 山川 雫さん(5年)
なぜ、つるが巻き付いているのかと思っていたけど、自分の身を守るためだと分かりました。



「2年生 野菜づくり」

- ながさきるいさん(2年)
いろいろなやさいをうえて、どのやさいも元気にそだってほしいです。まいあさの水やりがんばります。
- ぶせきしゅんとさん(2年)
しちゅうをたてたり、シートをかけたりしてなえうえをしました。元気にそだつといいなとおもいました。



「全校生 田植え」

- やまかわあいりさん(1年)
つちにはいったとき、きもちよかったです。
- はしもとめいさん(1年)
どろがどろどろできもちよかったです。
- やまかわしゅんさん(1年)
なえをいっぱいうえたかったです。

リフレーミングで自己肯定感を高めよう！

リフレーミングとは、出来事の枠組み（フレーム）を変えることです。かの有名なウィリアム・シェクスピアは、「良いも悪いも本人の考え方次第」という言葉を残しています。有名なたとえ話ですが、コップに水が半分入っている時、「半分しか入っていない」というフレームと「半分も入っている」というフレームでは物事の見方が異なってきます。事実としては、単に「コップに水が半分入っている」ということですが、「砂漠で喉の渇きを癒やしたい」というフレームで見れば不足と感じたり、「薬を飲む水が必要」というフレームで見れば十分だと感じたりします。つまり、状況や考え方によって捉え方が変わってくるのです。



リフレーミングは、出来事の枠組み（フレーム）を変えることで、人生における選択の幅を広げ、どのような出来事にも必ずプラスの意味があることを教えてくれます。

人間関係づくりにも役に立つと思います。同僚や家族、子供たちを「欠点」とみるか「長所」と見るかで接し方も変わってきます。悪いところが気になったときには、リフレーミングしてみるのも良い方法だと思います。より良い見方をして、自分を、相手を好きになりましょう。

(リフレーミング例)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| ○あわてんぼう→行動的 | ○おしゃべり→社交的 | ○カッとしやすい→情熱的 |
| ○がんこ→意志が強い | ○口がきつい→正直 | ○さわがしい→明るく活発 |
| ○だらしない→おおらか | ○なげやり→あきらめがいい | ○負けず嫌い→向上心がある |
| ○無口→話をよく聞いてくれる | | |



※詳細は藤井小学校ホームページをご覧ください。子供たちの活動の様子がたくさん紹介されています。携帯電話からもご覧になれます。左のQRコードを携帯のバーコードリーダー機能で読み取ってご覧ください。